

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	PCテクニック		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	PCテクニック	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	38回(76単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	音楽スタッフ総合コース / アーティストスタッフコース / レコーディングコース / PA&Recコース / PAコース / 照明コース / ライブハウスコース / ローディーコース / 企画制作コース / 舞台製作コース				教員の 実務経験の有無	
担当講師 実務経歴	SchooSwingを利用					
授業概要						
Excel・Word・PowerPointといったマイクロソフト系ツールや、GoogleWorkSpaceの各種アプリケーションの入門～基礎操作、活用方法をオンデマンド授業で学ぶ						
到達目標						
授業内でのPC作業や、社会人になってから応用できるPCテクニックを身につける						
授業計画・内容						
【前期】 1～8回目	PCテクニック～Word編～					
【前期】 9～13回目	PCテクニック～Excel編～					
【前期】 14～19回目	PCテクニック～Google編～					
【後期】 20～24回目	PCテクニック～Google編～					
【後期】 25～27回目	PCテクニック～Google スプレッドシート編～					
【後期】 28～33回目	PCテクニック～PowerPoint編～					
【後期】 34～37回目	PCテクニック～Google スライド編～					
【後期】 38回目	PCテクニック～ Web会議ツール編～					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	ライブ・イベント制作講座		授業形態 / 必・選	講義	必修	
	学則上表記	ライブ・イベント制作講座	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	10単位
科目設置コース	企画制作コース/舞台製作コース			教員の 実務経験の有無	該当	
担当講師 実務経歴	ライブハウス店長として店舗運営のノウハウを取得。同店舗にてライブハウス業務に加え映像部門を立ち上げ、現在はライブハウスプロデューサーという立場から運営に携わっている。 またイベント制作、ホールイベントの舞台監督、所属アーティストのA&R業務などを経験している。					
授業概要						
ライブイベントを制作するために必要な基礎業務を具体的に学ぶ。						
到達目標						
ライブイベントの運営方法を学び、ライブハウス規模でのイベントを自分たちで企画・運営できる知識と技術を身につける。□						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	音楽イベントの種類を知る イベント制作のスケジュールを知る イベント概要 テーマを知る					
【前期】 6～10回目	予算とチケットとプロモーションについて知る 【7月企画ライブに向けて】 ・イベント制作・ブッキング・プロモーション					
【前期】 11～15回目	・プロモーションと企画をブラッシュアップ ・プロモーションアイデアと舞台美術等アイデア ・イベント当日の運営について知る					
【前期】 16～19回目	・当日の運営の確認 ・企画ライブ本番 ・企画ライブ反省会					
【後期】 20～24回目	【12月企画ライブに向けて】 ・テーマを考える ・ブッキング					
【後期】 25～29回目	・ブッキングと企画 ・テスト総括とプロモーション作業 ・プロモーションプランの作成/タイムテーブル作成					
【後期】 30～34回目	【2月イベントに向けて】 ・アイデア出し ・コンセプト・ブッキング内容の決定					
【後期】 35～38回目	・当日運営の確認 ・イベント本番 ・反省会					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	舞台制作実習Ⅱ-I		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	舞台制作実習Ⅱ-A	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	舞台製作コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	大道具会社～舞台監督会社を経て、現在海外アーティストを含む数多くのアーティストの全国ツアーを手掛けている舞台監督。				
授業概要					
舞台業界標準となっている図面アプリケーション『Vector works』の利点と操作方法を学ぶ。					
到達目標					
迅速に舞台図面を作成・修正対応できる技術の修得。 企画ライブの舞台図(平面図・立面図・断面図)を3Dで作成出来る技術の修得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	＜各種資料作成の方法＞進行表・タイムテーブル・図面・譜割り				
【前期】 6～11回目	＜企画ライブに向けた資料作成＞トラス図面・平面図・正面図・進行表・タイムテーブル等				
【前期】 11～16回目	＜スタフェスに向けた図面作成＞ホール図面・アリーナ図面等				
【後期】 17～20回目	スタフェスに向けたプラン作成				
【後期】 21～29回目	企画ライブに向けた資料作成～全外部企画ライブの反省会				
【後期】 30～33回目	＜ツアーを組む＞工程・予算・費用等				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	舞台制作実習Ⅱ - Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修	
	学則上表記	舞台制作実習Ⅱ-B	年次	2年次		
授業時間	90分(1単位時間45分)		年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	舞台製作コース				教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	大道具会社～舞台監督会社を経て、現在海外アーティストを含む数多くのアーティストの全国ツアーを手掛けている舞台監督。					
授業概要						
学外ホールの舞台躯体を使用し本来のコンサート・ライブ環境で実習 トラスの昇降や吊物の各種取扱い方法について学ぶ。						
到達目標						
学外ホールの舞台躯体を使用し本来のコンサート・ライブ環境で実習 トラスの昇降や吊物の各種取扱い方法について学ぶ。						
授業計画・内容						
【前期】 1～5回目	＜パネル製作＞製作～仮吊り～シミュレーション					
【前期】 6～11回目	平台・木脚での台組み トラスのスリング吊り／パネル吊り／幕吊り					
【前期】 12～17回目	スクリーン組みと吊り 箱馬を使った台組みと復習 ソレノイド仕込みと復習					
【前期】 18～20回目	バンチカーベット裏貼り 舞台機構 雪布仕込み					
【後期】 21～23回目	スタフェスに向けた仮組み・積み込み・準備等					
【後期】 24～26回目	＜仕込み実習＞仕込みを考えて実践					
【後期】 27～33回目	企画ライブに向けた仮組・積み込み・準備等					
【後期】 34～39回目	仕込み実習					
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。					
備考						

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	大道具実習Ⅱ - Ⅰ		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	大道具実習A	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	舞台製作コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	大道具会社を経て現在国内アーティストのドームツアーを手掛けている大道具スタッフ				
授業概要					
木工道具・電動工具の扱い方について学ぶ。 危険が伴うので、慌てず急がず反復練習を行う。					
到達目標					
ミリ単位で製作する高度な技術の習得。					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	＜基本工具の正しい使い方＞ナグリ、コガチ、カッター、メジャー、その他使用法 ＜1年次の復習＞ロープワーク、パネル繋ぎ人形立て				
【前期】 6～11回目	企画ライブに向けた大道具の立案と製作				
【前期】 12～17回目	＜電動工具の使用法＞インパクト、押切、ジグソー、サンダー等				
【後期】 18～23回目	スタフェスに向けた大道具の立案と製作				
【後期】 24～28回目	企画ライブに向けた大道具の立案と製作				
【後期】 29～32回目	＜平台、箱馬、階段＞各々の意味や組み方、山台組				
【後期】 33～37回目	＜階段の製作＞				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	大道具実習Ⅱ-Ⅱ		授業形態 / 必・選	実習	必修
	学則上表記	大道具実習B	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	76回(152単位時間)	年間単位数	5単位
科目設置コース	舞台製作コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	大道具会社を経て現在国内アーティストのドームツアーを手掛けている大道具スタッフ				
授業概要					
「企画イベント」の大道具の作成 イベントパネル・小道具・持ち出し道具の作成					
到達目標					
完成度の高い技術力の習得					
授業計画・内容					
【前期】 1～5回目	＜1年次の復習＞書籍棚の製作、ロープワーク、パネル繋ぎ				
【前期】 6～10回目	企画ライブに向けた大道具製作				
【前期】 11～16回目	＜引出し製作＞設計、作図、製作				
【後期】 17～21回目	スタフェスに向けた大道具製作				
【後期】 22～27回目	企画ライブに向けた大道具製作				
【後期】 28～29回目	＜平台、箱馬、階段＞各々の意味や組み方、山台組				
【後期】 32～37回目	＜階段の製作＞				
評価方法	学期末に実施する試験点数、出席率、講師評価等の項目から総合的に評価する。 S(90点以上)/A(80点以上)/B(70点以上)/C(60点以上)/D(60点未満)/E(未受講)の6段階評価。				
備考					

専門学校ESPエンタテインメント東京 音楽芸能スタッフ科

授業科目名	舞台製作実地演習Ⅱ		授業形態 / 必・選	演習	必修
	学則上表記	舞台製作実地演習Ⅱ	年次	2年次	
授業時間	90分(1単位時間45分)	年間授業数	4回(20単位時間)	年間単位数	1単位
科目設置コース	舞台製作コース			教員の 実務経験の有無	該当
担当講師 実務経歴	各科目担当講師、及び研修先のご担当者様等。				
授業概要					
それぞれのイベント等において接客対応、現場における作業について研修を行う。					
到達目標					
現場における作業、流れ等のノウハウ習得。イベント等を協力して作り上げることによるコミュニケーション能力の向上。 企画、立案、進行等、インプット・アウトプット能力の向上。					
授業計画・内容					
1回目	学校法人イーエスピー学園主催イベント				
2回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 屋内会場				
3回目	外部コンサート・ライブスタッフ研修 屋外会場				
4～5回目	ゲスト講師による舞台製作授業				
評価方法	平常点(授業態度、レポート提出状況・内容、出席率等を総合的に評価)				
備考					